

## Improve ability 運動の仕方を プロの視点で教える

伸び悩む小学生の運動能力  
外部人材を活用した新たな体育の授業



体力アップサポーター 織田修輔さん

体力維持に必要なのは  
運動の楽しさを伝えること

「運動は楽しいということ  
を、おとなが伝えることが大  
切。それが子どもの自発性に  
つながるんです」

そう話すのは、体力アップ  
サポーターの織田修輔さん。  
市立小学校の体育の授業に参  
加し、跳び箱や鉄棒などの指  
導を行っています。

兵庫県の小学生の体力・運  
動能力は全国平均より低く、  
特に筋力や投能力が低い傾向  
があります。子どもたちの体  
力と学校教員の指導力を向上  
させるため、各小学校に県か  
ら派遣されるのが体力アップ  
サポーターです。

今年度は、清和台南・緑台・  
久代小学校に、(学)大阪滋慶学  
園大阪ハイテクノロジー専門  
学校と伊丹アスリートクラブ  
からサポーターが派遣されて  
います。

同専門学校で幼児体育を研  
究している織田さんは、運動  
に積極的ではない子どもが増  
えていると心配します。

「運動する子・しない子だ  
けでなく、言われないとしな  
い子が増えています。自分か

ら運動するようになるには、  
楽しさが必要。楽しさが伝わ  
るように、笑顔で接すること  
を心掛けています。また、身  
体の使い方が分かるようにな  
ると、けがをすることも減る  
んですよ」

プロが教える身体の使い方  
たった1時間で変化

サポーターが教えられるの  
は1校につき最大12時間。限  
られた時間を楽しく成長でき  
る時間にしようと、織田さん  
は教え方を工夫します。

「逆上がりができなくても、  
胸の前でぶら下がる練習をす  
ることで、おなかを鉄棒に近  
づけられるようになります。」

これを繰り返すことが、逆上  
がりへの第一歩。おとなでも  
『できない』という経験をし  
ていなければ、そのことを子  
どもに教えるのは難しいんで  
す。だからこそ、原因を研究  
して、身体の使い方を教えて  
あげることが私たちの役割だ  
と思います」

できるようになったことを  
褒められると、次第に笑顔に  
変わる子どもたち。小学校の  
教諭も、プロの指導方法に耳  
を傾けます。

「地元川西に貢献できるこ  
とがうれしいですね。川西の  
子どもたちが、けがなく好き  
な運動ができるように、協力  
していきたいです」



## 貝柱とブロッコリーのソテー

学校給食のメニューをアレンジ

おとな子どもも  
食と育つ

保健センター  
☎(758)4721

レシピ 市学校栄養担当者会

●材料 3人分  
貝柱(水煮缶) ..... 60g  
ブロッコリー ..... 1/2株(150g)  
ホールコーン ..... 大さじ1程度  
バター ..... 小さじ1弱  
薄口しょうゆ ..... 小さじ1  
白こしょう・ガーリックパウダー ..... 各少々  
熱量(おとな1人分): 60kcal、塩分: 0.7g

●作り方  
①ブロッコリーは小房に分け、塩ゆで(分量外)する。  
②貝柱をバターで炒めてなじんだら、薄口しょうゆ、白こしょう、ガーリックパウダーを加える。  
③ブロッコリーとホールコーンを加え、皿に盛る。

コーンを加えて彩り豊かにアレンジ。  
給食では、一口大にカットした冷凍貝柱を使用しています。冷凍や生の貝柱は、清酒につけておくと臭みが取れます。

memo

生きる

人権推進課  
☎(740)1150

## 現在も続く「よみかき教室」

読み書きが苦手な外国人に教える日本語  
不自由のない生活に必要なもの

総合センターで部落差別の解消のために行ってきた事業の中には、現在も形を変えながら続いているものもあります。例えば、字が読めないおとなを対象に始まった「識字教室」は、「よみかき教室」として継続しています。

解放運動などによって字が読めない人が減少したため、現在通っている日本人はいません。中国やベトナムなどから移り住んだ人が、この教室で日本語を学んでいるのです。

近年、日本に多くの外国人が仕事のために移り住むようになりました。人数は少ないかもしれませんが、それは川西も同じです。日常生活では気付かないかもしれませんが、同じまちの中にいるのです。

よみかき教室に来る外国人は、日本語を読み書きできるようにならなければならないという意識が強いように感じています。

簡単な日本語が話せても書類や文章を書くことが難しく、病院での手続きや書類作成などで困ることが多いと聞きます。市役所に行くにも、書類を書かなければならないとびくびくしながら足を運ぶそうです。

私は読み書きを教えるとき、楽しめるように、そして自国のプライドを保ちつつ学べるようにと意識しています。不自由なこともある日本での生活で、前を向いて生活していくためには必要なことだと思うのです。

多文化が共生する社会で、よみかき教室のように、不自由なく生活するために必要なものを誰でも身に付けられる場所は、今後必要だと感じています。

(緑台小学校区人権啓発推進委員会委員長 矢野端)

消費生活センターだより

消費生活センター  
☎(740)1167

## ネットで紹介されるもうけ話

高額な「情報」を買わされないように注意  
簡単にもうかる方法はありません

事例1 FX投資で世界的に有名なA氏に興味を持ち、SNSに登録した。A氏から直接メールが届き「毎月36万円を稼げるFX投資ソフトを特別に提供する。申し込みは今日まで」と勧められ、2万8,000円を払って申し込んだ。翌日、サポート担当のB氏から電話があり「遠隔操作でサポートするので29万8,000円を払ってほしい」と言われた。高額なので迷ったが、B氏も毎月30万円以上もうけていると言うのでカードで支払った。資金10万円を運用したが全くもうからない。だまされたと思う。返金してほしい。(70歳代 男性)

事例2 SNSで知り合った女性から、クリックするだけで1,000円が300万円になるアプリを勧められた。試したら本当に1,000円が5,000円になったので、9万8,000円を払ってアプリを購入した。ところがダウンロードできず、アプリの会社から「注文が殺到したため通信が混み合っている。おわりに上位バージョンアプリが購入できるようにした。倍々で利益がでる」と言われた。39万8,000円で購入したが、口コミで詐欺だと分かった。やめたい。(20歳代 男性)

ネットなどで販売される金もうけのノウハウを「情報商材」と呼びます。何億円ももうけているという投資家の動画を見てSNSでやり取りを始めると、自分でも簡単にもうけられるような気になってしまいます。しかし相手は勧誘のプロ。高額な「情報商材」を販売するのが目的です。

簡単にもうけられる話はありません。近寄らないのが一番の自衛策です。契約してしまったときは、早めに消費生活センターにご相談ください。

市政情報

求人・募集

発表・鑑賞

中央図書館

カレンダー

催し

公民館

健康

相談の案内

福祉

子育て

ニュース